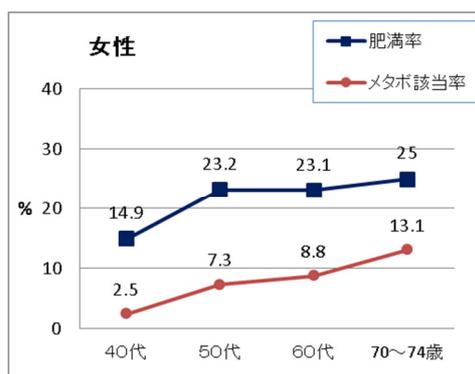
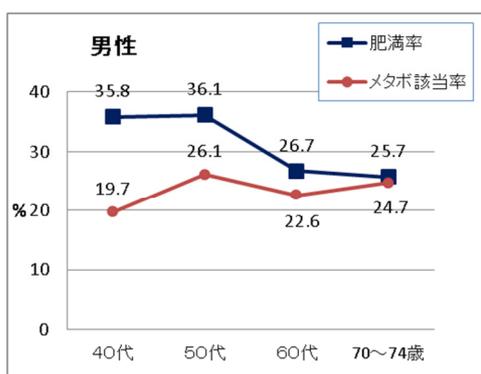
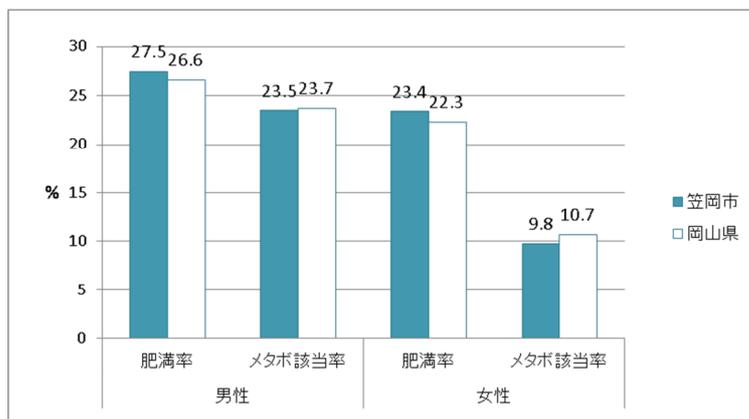


## 8 特定健診受診者の分析結果

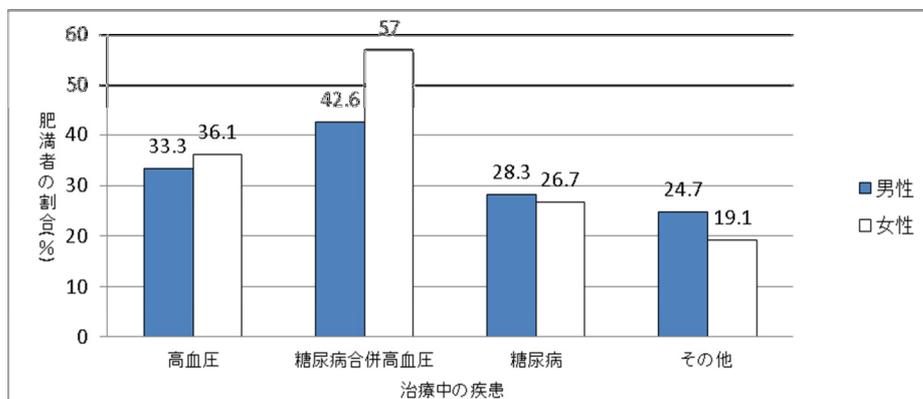
※岡山県国保連合会「受療行動・特定健診データ分析による地域健康課題」より  
平成20年度から3年間の受診者を合算して集計したもの。

### 肥満について

#### ①肥満率とメタボ該当率

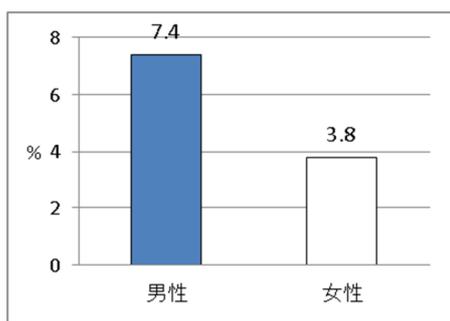


#### ②治療中の疾患別肥満者の割合

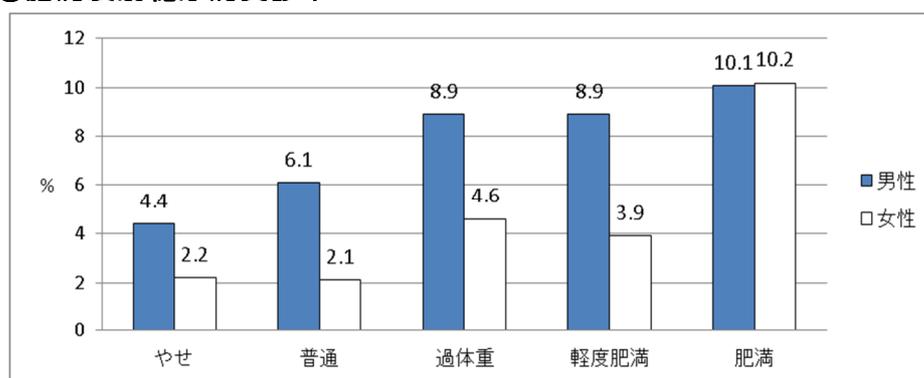


## 糖尿病について

### ①糖尿病患者の受診率

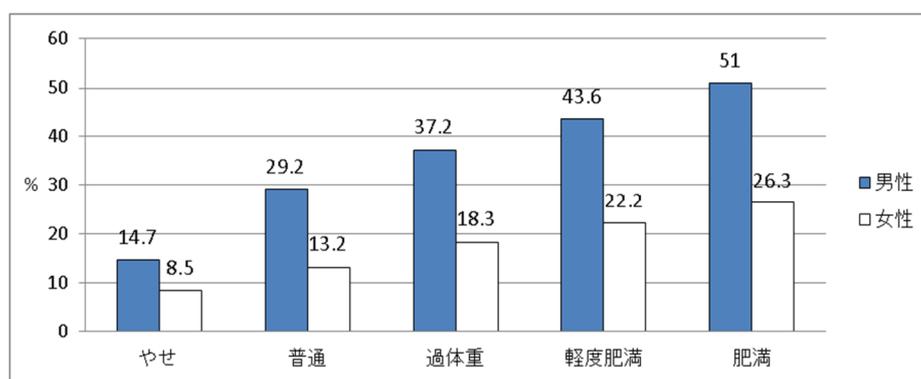


### ②肥満度別糖尿病受診率



## HDL コレステロールについて

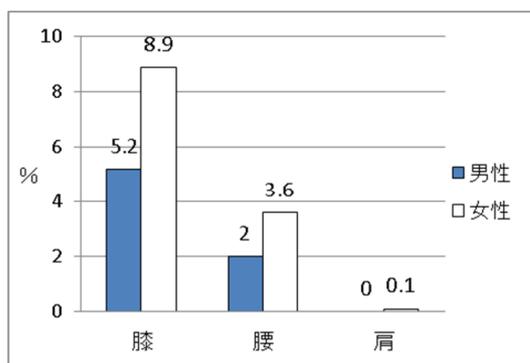
### ①肥満度別 HDL コレステロール低値者の割合



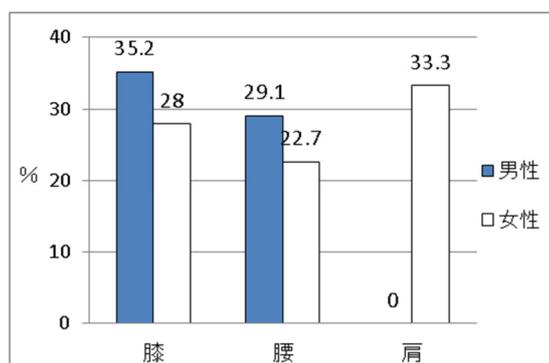
※HDL 低値とは 49mg/dl 以下で分析。

## 筋肉・骨格系について

### ①痛みの種類別愁訴者の割合



### ②痛みの種類別肥満者の割合



《国保連合会「受療行動・特定健診データ分析による地域健康課題」分析結果を参考》

肥満率は、男性では40～50代で多く、メタボ該当率は50代が一番多い。女性では肥満率・メタボ該当率ともに年齢とともに高くなっている。

肥満度別にみると、体重増加につれて、男女ともに糖尿病受診率やHDLコレステロール低値者の割合が高くなっている。また、女性では肥満性高血圧が多くみられる。さらに、膝痛・腰痛の愁訴者のうち約3割が肥満者である。

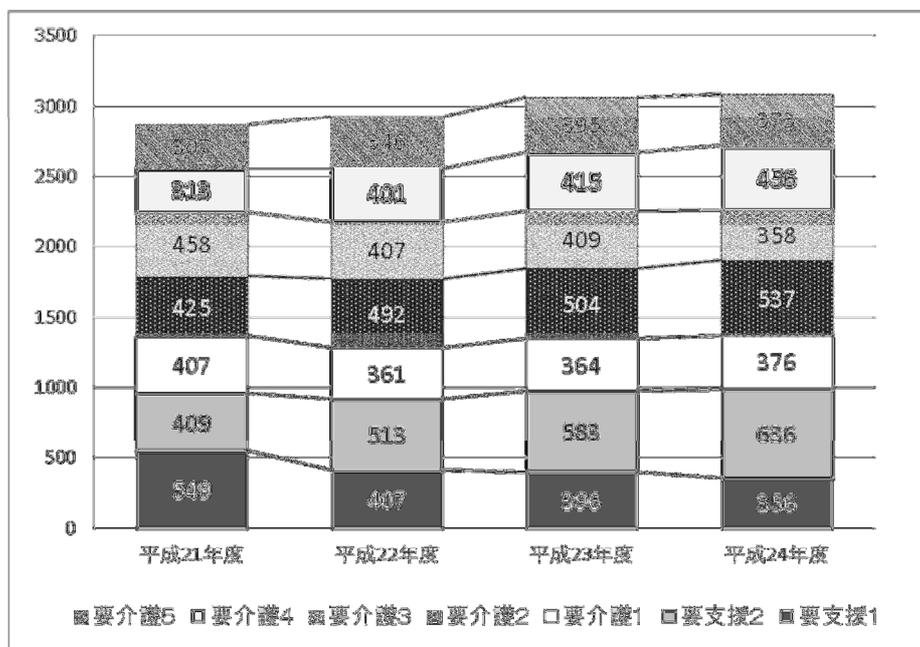
以上のことから、運動普及などにより肥満予防・解消に取り組み、メタボに発展させない対策が課題である。ただし、運動普及には膝痛・腰痛の愁訴に留意することも必要である。

## 9 介護認定状況

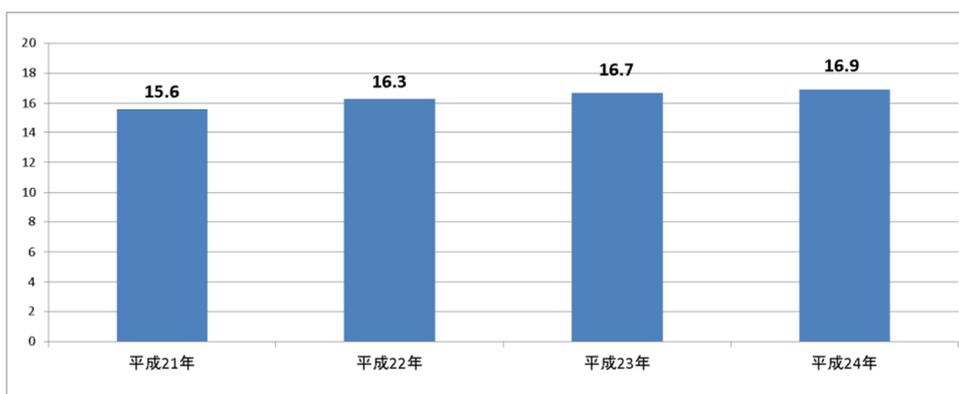
### 認定者数の推移

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
認定者総数	2,868	2,927	3,066	3,092

(※各年 10月1日現在)

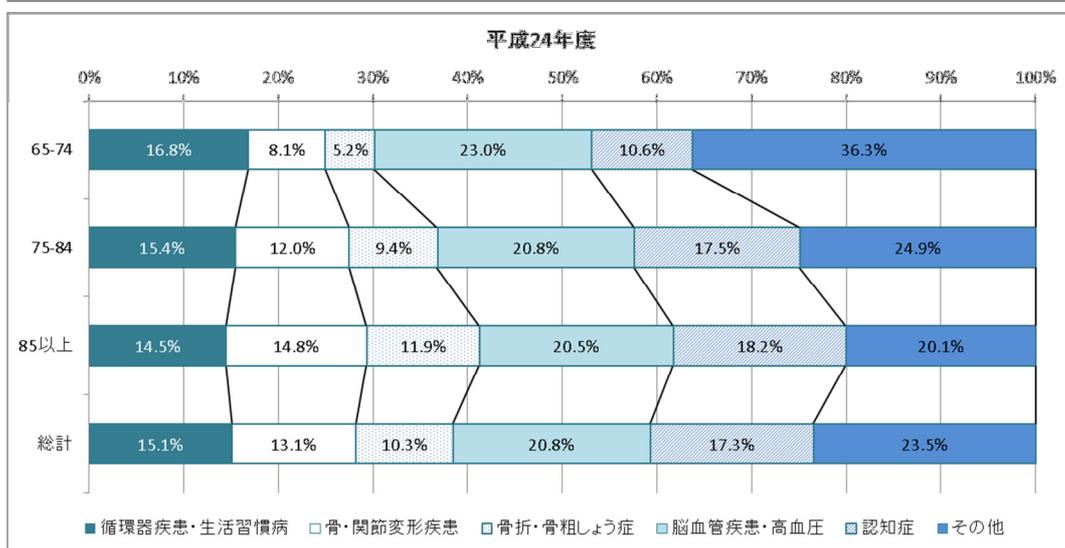
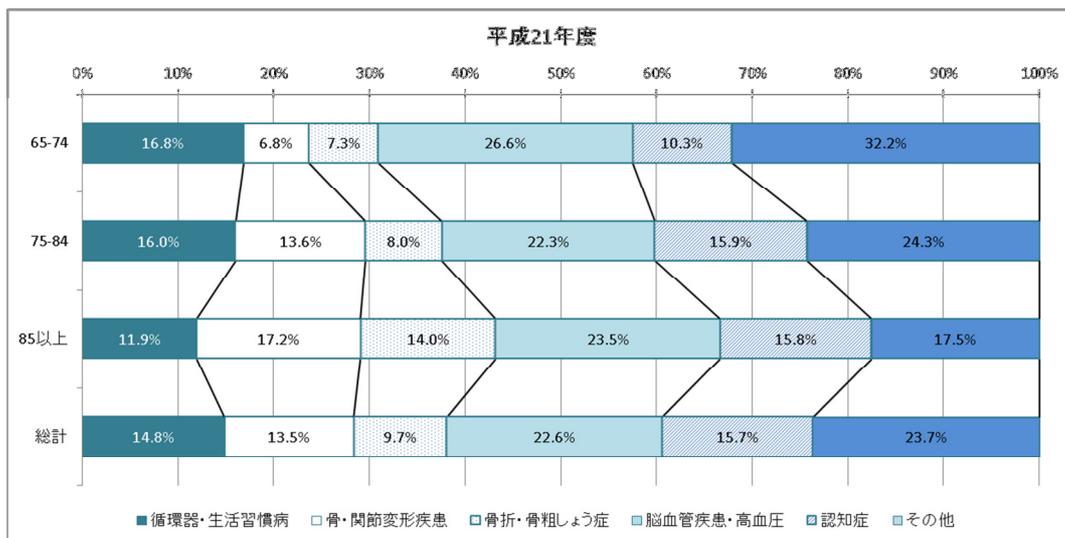


### 介護認定率

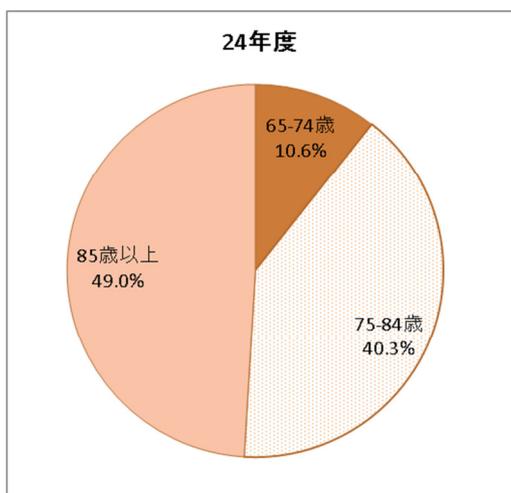


(※各年 10月末日現在)

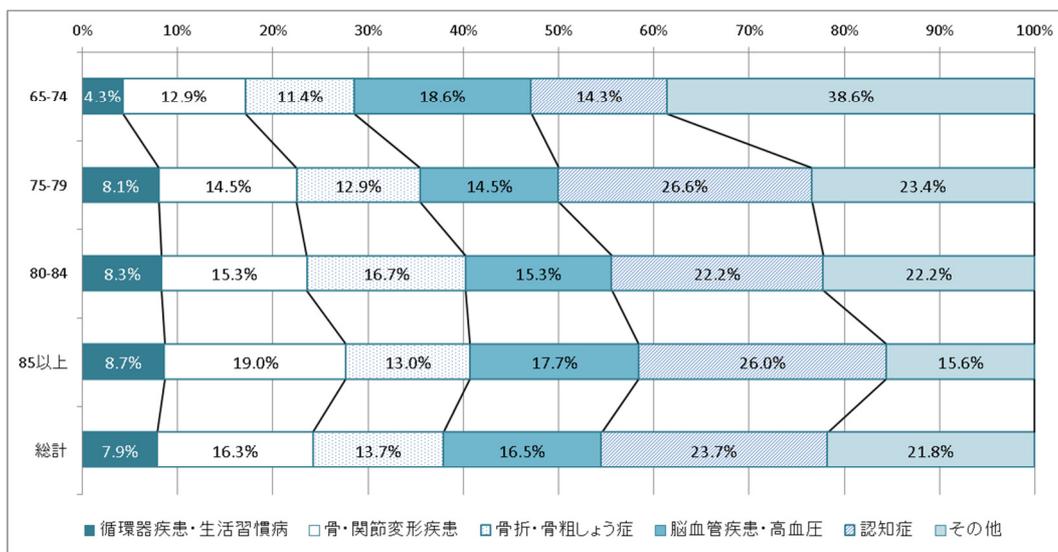
## 介護認定理由



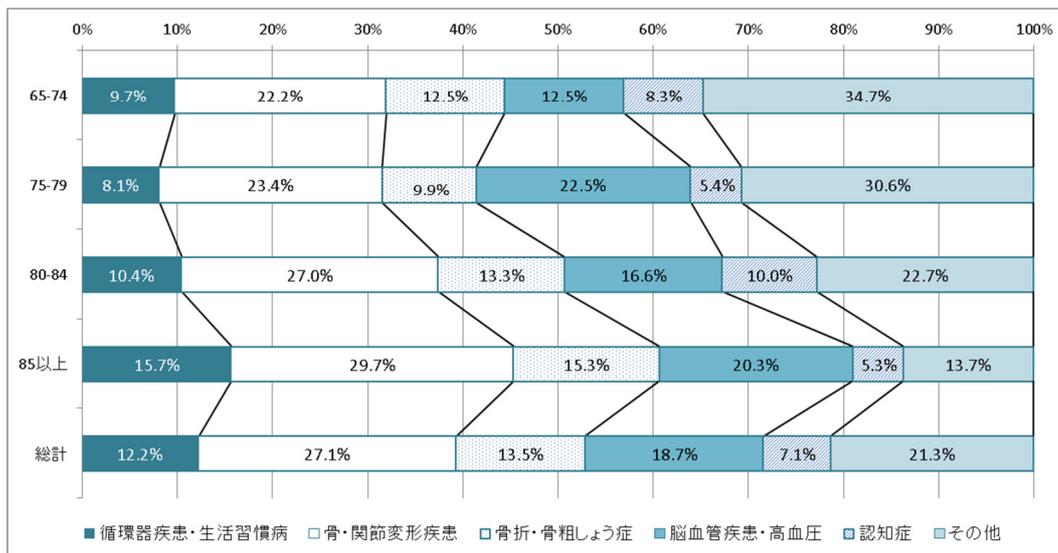
## 介護認定者の年齢別割合



### 平成 24 年度新規認定者（要介護＋要支援）の年齢別原因疾患



### 【再掲】平成 24 年度新規認定者（要支援）の年齢別原因疾患



#### 《H21 年から H24 年度の 4 年間の変化》

介護認定率はほぼ横ばいであった。

要介護認定理由について、年齢が高くなるにつれ、「骨・関節疾患」「骨折・骨粗鬆症」及び「認知症」の割合が高くなっていった。平成 24 年度の要支援の新規認定者の認定理由をみると、どの年代においても「骨・関節疾患」が一番多く、全体の 3 割弱を占めていた。

## Ⅲ 最終評価について

### 1 最終評価の目的と評価方法

#### 1) 最終評価の目的

「いきいき笠岡 21」は、策定から 5 年後の平成 19 年度に、計画全体の進行と達成状況の中間評価を行い、計画を見直しました。平成 20 年度からの特定健診・特定保健指導の実施に伴い、国・県との整合性を図るため、指標を 9 つの分野に分類するとともに、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）のリスク要因の減少率や、特定健診・特定保健指導の実施率並びに食生活、運動及び糖尿病等に関する目標値と指標の追加・見直し等の改定を行いました。

最終評価の目的は、計画の策定時や一部改定時に設定した目標についての達成状況や、これまでの推進状況を把握し、取り組みの状況を評価するとともに、その課題を明確にすることで、平成 26 年度以降の健康づくり推進に反映させるためのものです。

#### 2) 最終評価の評価方法

「いきいき笠岡 21」では、「地域とのふれあいを通して、いきいきと心豊かに暮らしたい」という夢の実現のため、①心も体もいきいきとしている、②人との交流が持てる、③ふれあいの気持ちを育む機会がある、④気軽に集え活用できる場所がある、という、4 つの願いに沿って、「自助」「共助」「公助」それぞれの面から取り組みを実施してきました。

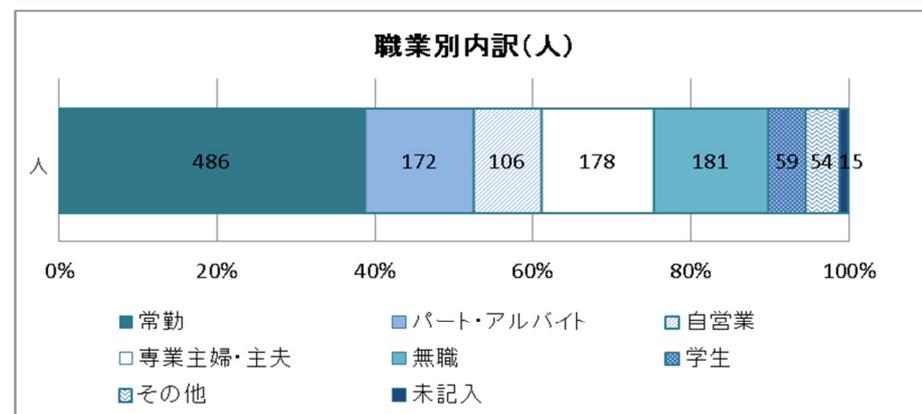
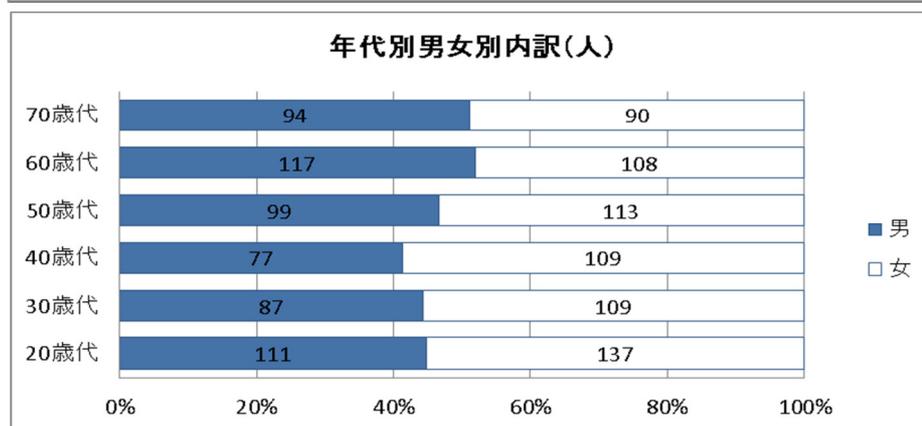
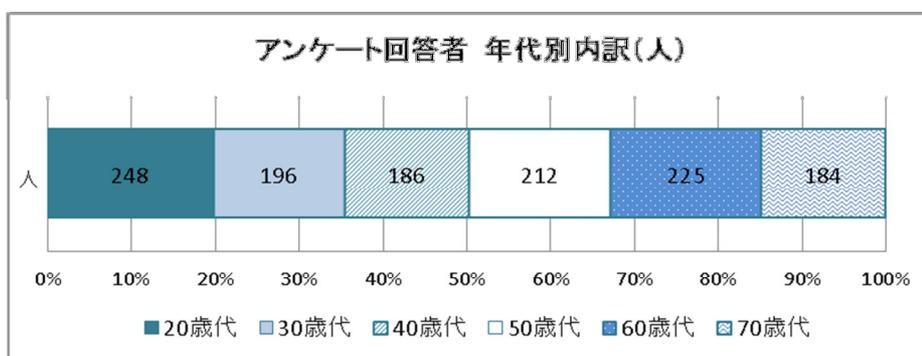
「健康日本 21」にならい、①栄養・食生活、②身体活動・運動、③休養・こころの健康づくり、④たばこ、⑤アルコール、⑥歯の健康、⑦糖尿病、⑧循環器病、⑨がん、の 9 分野について、22 項目 88 指標を設定し、このうち「自助」に関する 13 項目 50 指標の評価項目について目標を設定し、各種統計データや平成 13 年度、平成 19 年度、平成 24 年度に実施した市民健康づくりアンケートにより得られた結果をもとに評価を実施しています。

「共助」「公助」についての各分野の取り組みについては、今回評価対象とはしていませんが、「共助」「公助」のそれぞれの取り組みが「自助」つまり個人の意識や行動変容につながっていると考えます。そのため、「共助」「公助」については、取り組みの実績として掲載しています。

<平成24年度市民健康づくりアンケートの概要>

- 調査期間 平成24年9～10月
- 対象者 20～70歳代（70歳代は74歳まで）の市民2,038人  
※20歳代男女200人ずつ計400人、その他の各年代男女150人ずつ計1,500人。さらに、市内を24地区に分けたときの人口比率にあわせ138人を無作為抽出。
- 配布回収方法 愛育委員を通じて配布・回収
- 配布枚数 1,956枚
- 回収枚数 1,740枚（回収率89.0%）
- 有効回答数 1,251枚（男性585人、女性666人）
- 有効回答率 71.9%  
※有効回答とは、基本項目のうち、【年齢】【性別】が未記入でないものをいう。

今回の集計結果は、有効回答票のみ取り扱うこととし、以下、「アンケート回答者」と呼ぶ。結果については、P.50<参考資料>参照。



### 3) 判定区分

評価は、策定時の基準値（※但し、中間評価において新たに指標としたものについては中間値を基準値と読み替え）と、直近値（平成24年度実績）との比較を行い、その達成状況を下記の基準により判定、評価を行いました。

<判定区分と判定基準>

判定区分	判定基準
A	目標に達成した
B	目標に達成していないが改善傾向にある
C	変わらない
D	悪化している
E	策定時にデータがない、または、 基準値以降の新たなデータがない

## 2 目標値の達成状況

### 1) 全体の評価

<計画の達成状況>

判定区分	指標数	分野別の判定結果								
		食生活・栄養	身体活動・運動	健康づくり	休養・こころの健康	たばこ	アルコール	歯の健康	糖尿病	循環器病
A	10 指標	1	2	1	0	0	4	0	2	0
B	2 指標	0	0	0	1	0	1	0	0	0
C	16 指標	2	2	0	1	0	0	1	6	4
D	18 指標	1	1	0	0	2	0	3	2	9
E	4 指標	1	1	0	0	0	1	1	0	0
合計	50 指標	5	6	1	2	2	6	5	10	13
A+B(達成+改善)率		20.0%	33.3%	100%	50.0%	0.0%	83.3%	0.0%	20.0%	0.0%
D(悪化)率		20.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	60.0%	20.0%	69.2%

基準値と最終値の評価判定結果では、50 指標のうち、「A（目標に達成した）」と「B（目標に達成していないが改善傾向にある）」を合わせると 24.0%となり、これは、健康づくりに対する個人をはじめ笠岡市全体としての意識の向上と事業の成果だといえます。一方、「C（変わらない）」が 32.0%、「D（悪化している）」が 36.0%という結果でした。

各指標の判定結果によると、疾患においては、「虚血性心疾患受療件数・脳血管疾患受療件数」の改善傾向がみられた一方、「糖尿病有所見者の割合（40～74 歳）」は悪化していました。

また、生活習慣では、「進行した歯肉炎のある人（40～70 歳）」「女性の喫煙者の割合（20～40 歳）」で改善傾向がみられ、「週 1 回以上運動している人の割合」、「多量に飲酒する人の割合」で悪化がみられました。

「特定健診受診率」、「がん検診受診率」は、いずれも悪化していました。

総合的には、健康寿命の指標ともいえる「75 歳以上で自立して生活できる人の割合」で目標達成がみられました。

今回最終評価を実施するにあたり、具体的な数値目標が計画策定時に設定されていなかったり、指標を設定していても策定段階で実績値が把握できず、基準値との比較ができなかったりしたこと等により、評価が困難な項目がありました。指標を設定する際には、将来の調査予定などを見通しつつ、通常業務で把握できる指標を積み重ねていくことが重要であり、このことは、今期の反省点の 1 つであるといえます。

<A 判定の指標>

判定区分	指標数	分野	主な指標	策定時	最終評価時	目標値
A	10指標 (20.0%)	栄養・食生活	中学校のやせの者の割合	3.1%	2.0%	2.0%
		身体活動・運動	身体活動を1日1時間以上実施している者の割合(40～74歳代)	33.2%	42.9%	40.0%
			自立して生活できる人の割合(75歳以上)	66.8%	82.1%	増加
		休養・こころの健康づくり	自殺者の減少	10人	5人	減少
		歯の健康	喫煙と歯周疾患の関係について知識を持つ人(40～70歳)	34.8%	53.2%	50.0%
			定期的な歯科健診を受ける人の割合	21.0%	30.9%	増加
			進行した歯肉炎のある人(40～70歳)	34.8%	7.8%	減少
		循環器疾患	6024の達成者の割合	55.8%	66.0%	増加
			脳血管疾患受療件数の割合	3.3%	1.1%	減少
				虚血性心疾患受療件数の割合	2.3%	1.0%

<B 判定の指標>

判定区分	指標数	分野	主な指標	策定時	最終評価時	目標値
B	2指標 (4.0%)	たばこ	女性の喫煙者の割合(20～40歳代)	11.3%	6.6%	5.0%
		歯の健康	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人(40～70歳)	23.8%	37.7%	50.0%

<C 判定の指標>

判定区分	指標数	分野	主な指標	策定時	最終評価時	目標値
C	16指標 (32.0%)	栄養・食生活	小学生の肥満傾向者の割合	9.3%	9.5%	6.2%
			40～64歳代女性の肥満者の割合	24.4%	24.8%	20.0%
		身体活動・運動	1日30分以上、週2回以上運動をしている者の割合(40～74歳)	36.6%	35.5%	40.0%
			運動機能の候補者となった人の割合(75歳以上)	26.5%	28.2%	減少
		たばこ	非喫煙者の割合	男性 46.3% 女性 92.5%	男性 65.1% 女性 93.1%	増加
		糖尿病	糖尿病有病者数の割合	5.0%	4.7%	減少
		循環器疾患	特定保健指導出現率	19.1%	14.4%	10.0%
		がん	脂質異常有所見者の割合(40～74歳)	46.1%	42.6%	減少
			LDLコレステロール値が保健指導域数値以上の人の割合(40～74歳)	67.7%	62.2%	減少
			HDLコレステロール値が保健指導域数値以下の人の割合(40～74歳)	4.8%	4.4%	減少
			中性脂肪値が保健指導域数値以上の人の割合(40～74歳)	24.3%	22.2%	減少
			血圧異常有所見者の割合(40～74歳代)	44.6%	42.2%	減少
			悪性新生物による死亡割合	30.0%	26.9%	減少
			肺がん検診精検受診率	90.9%	85.2%	100.0%
			胃がん検診精検受診率	88.6%	88.6%	100.0%
		大腸がん検診精検受診率	84.5%	80.9%	100.0%	

<D 判定の指標>

判定区分	指標数	分野	主な指標	策定時	最終評価時	目標値
D	18指標 (36.0%)	栄養・食生活	40～64歳代男性の肥満者の割合	33.5%	47.1%	30.0%
		身体活動・運動	週1回以上運動している人の割合	38.8%	25.6%	40.0%
		アルコール	飲酒者のうち休肝日を設けている人の割合	69.3%	50.7%	増加
			多量に飲酒する人の割合	男性 1.2% 女性 0.0%	男性 10.4% 女性 1.5%	減少
		糖尿病	糖尿病有所見者の割合(40～74歳)	27.8%	32.9%	減少
			空腹時血糖が保健指導域数値以上の人の割合(40～74歳代)	40.7%	44.8%	減少
			HbA1cが保健指導域数値以上の人の割合(40～74歳代)	59.2%	65.4%	減少
		循環器疾患	特定健診受診率	26.2%	21.7%	65.0%
			特定保健指導実施率	13.6%	8.8%	45.0%
		がん	肺がん検診受診率	79.2%	33.2%	50.0%
			胃がん検診受診率	23.5%	9.8%	50.0%
			大腸がん検診受診率	25.1%	15.7%	50.0%
			子宮頸部がん検診受診率	20.8%	11.7%	50.0%
			乳がん検診受診率	14.5%	11.3%	50.0%
			前立腺がん検診受診率	19.1%	13.8%	50.0%
			子宮頸部がん検診精検受診率	92.9%	21.1%	100.0%
			乳がん検診精検受診率	95.7%	84.8%	100.0%
			前立腺がん検診精検受診率	97.2%	76.8%	100.0%

<E 判定の指標>

判定区分	指標数	分野	主な指標	策定時	最終評価時	目標値
E	4指標 (8.0%)	栄養・食生活	味噌汁塩分濃度のふつう以下の割合	-	91.1%	増加
		身体活動・運動	フィットネスクラブへの参加数の増加	-	343人	増加
		歯の健康	成人歯科健診受診数	0.1%	0.3%	増加
		糖尿病	糖尿病性じん症による透析患者の割合	-	27.2%	減少